

舞鶴医療センター附属看護学校

まいづる☆かんGO!!

第27号 発行日：令和元年8月23日

〒625-8502

京都府舞鶴市字行永 2410 番地

TEL：(0773) 63 - 4338 Fax：(0773) 63 - 3014



今年はずより遅い梅雨明けとなりましたね。あまり雨が降らないなあと思っていたら、スコールのような雨が急に降ったりと天気に左右される日が多かった気がします。さて、今回の学校新聞では4月から入学してきた1年生の学校での様子や3学年全員で取り組む行事、バレーボール部、茶道部、手話部の3つの部活動などを紹介したいと思います。まいづる☆かんGO!!を読んで看護学生の学校生活を知ってください。

1年生

今年度は京都府北部だけでなく、岡山県や兵庫県の高校からも入学してきました。今年の1年生は教育理念にあるような明朗・闊達な学生達です。社会人経験者もいますが、多くが現役生で、少人数のクラスだからこそその団結した力を持ち合わせています。

看護学校では看護師になるための専門的な内容を学びますが、テキストで学習するだけでは理解しにくいです。そのため、グループワークで知識を深めます。グループワークでは、自分の意見を言い、相手の意見を聞くことが必要です。お互いの意見を尊重しながら話し合うことで学年の目標である「切磋琢磨」が達成できるように努力しています。

また、12月に行われる5日間の基礎看護学実習Iでは、日常生活援助を要する対象を受け持ちます。対象のバイタルサイン測定や体位変換を行うなど、これまでの講義や演習で学習してきたことを実践します。安全・安楽に援助が実施できるよう鍛錬していきたいです。



2年生

2年生はまじめで素直な学生が多い学年であり、自分の役割は責任をもって果たすことができます。しかし、周りを見て行動することを苦手としています。2年生は学生自治会や寮自治会の中核を担い、学校生活を送るうえでの中心となるため、自分のすべきこと以外にも周りを見て行動しなければなりません。7月に行われた学生フォーラムでは主担当校として企画・運営を任されました。学生フォーラムとは近畿グループ5校が集まり行われる学生主体

の行事です。学生フォーラムが有意義な一日になるよう、去年からそれぞれの役割に分かれて準備をしてきました。当日は実行委員長の学生フォーラムに対する決意のこもった挨拶から始まり、学生がリーダーシップ、メンバーシップを発揮し、苦手としていた周りを見て行動することもでき、成功することができました。勉強も1年生の時と比べてより専門的な分野となり難しくなってきましたが、クラスで助け合いながら学校生活を送っています。



3年生

3年生は5月上旬から領域別実習が始まり、今まで学習してきた知識や技術を実際に看護場面で活用し、病院や地域で療養している対象のあらゆる発達段階や健康状態に応じた必要な看護を実践しています。様々な専門職と連携を取りながら医療提供するなか、看護師の役割は何かを考え、日々の実習で疑問に感じたことは話し合い、得た学びを共有し、助け支え合いながら実習に取り組んでいます。

2月には第109回看護師国家試験があります。昨年度の3年生は全員合格しました。今年も全員合格を目指して計画的に勉強を進めています。実習で対象とかかわった経験から、その分野の状況設定問題を解き、知識を定着させています。また、放課後には必修問題を解き、自分の苦手分野を見つけ克服できるように学習に取り組んでいます。実習や国家試験の勉強など多忙な日々ですが、毎日学びが多く充実した学校生活を送っています。



新入生歓迎会

4月には新入生歓迎会が行われました。学生会が主体となり、新入生が少しでも学校生活になじめるように3学年合同で行われました。全員の自己紹介から始まり、チーム対抗大縄跳びやしっぽ取り、ドッジボールなど1日を通して他学年と交流しました。昼食もグループで輪になり楽しみながらいただきました。はじめは顔がこわばって参加していた1年生も、徐々に緊張もほぐれ、笑顔も見られました。



大縄跳び



しっぽ取り



全員集合！

部活動紹介！！



バレーボール部



現在の部員数は1,2年生女子15人、男子7人、合計22人です。

活動は4月中旬からあじさい杯までの期間が主で、毎週月曜日～木曜日の18時～20時に練習に励んでいます。初心者もいるため、サーブ、レシーブ、アタックの基礎的なことから、ゲーム形式の練習も行っています。

バレーボールは団体戦であり、次にボールを触る仲間のことを考えながらボールをつなげるため、相手を思う気持ちが育まれ、その大切さを実感できます。

6月に開催された近畿グループ附属の看護学校5校が集まる「あじさい杯」では男女共に準優勝することが出来ました。



茶道部



毎月学生だけで活動を行っていますが、半年に一回は茶道の師範に来ていただき、作法を学んでいます。

茶道の基本となる「おもてなし」の心をはぐくみ、自分も相手も大切に想う、大切に扱う、という心が自然と身に付き、看護をするうえで役立つと思います。

今まで茶道を体験したことがない学生もいますが、お互いに作法を教え合うことが出来、1,2年生間の交流を深め、教え合いながら学んでいます。



手話部



月に2回を目安に講師を招いて活動しています。

手話を学ぶことで手話を必要としている人のことを考える機会になります。また、実習で聴覚障害を持つ人を受け持った時に学んだことを活かしてコミュニケーションをとることが出来、私たちに求められる“看護”について考える機会にもなります。





みずなぎ学園の「みずなぎパン」



毎週木曜日のお昼は、みずなぎ学園の方たちが作ったパンの販売があります。菓子パンや惣菜パン、クッキーやプリンなど様々なものがあります。学生のほか、教員も利用しておりとても人気があります。



みずなぎ学園のパン販売があるので、看護学生として障害のある方と交流ができるとともに、障害者の就労の支援ができると思います。また、交流を通して地域に育てられている学校を実感できます。

パリパリ明太子パン

アップルパイ

クッキー&黒糖プリン

*季節によってはアイスやヒンヤリとしたパンも販売されています。毎週木曜日にみずなぎ学園のパンを食べられることを楽しみにしています!!



オープンキャンパスのお知らせ

今年度もオープンキャンパスを開催しています。看護師という仕事に関心のある方、当校に興味のある方、学校の雰囲気を知る、入試情報を得る機会となりますので是非一度参加してみてください。例年、日本各地からの参加や保護者の参加も多くあります。皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

<日程> 8月24日(土)、9月14日(土)、2020年3月22日(日)

時間: 13:00~16:00

詳しくはホームページ <https://maizuru.hosp.go.jp/school/> をご覧ください。



<内容> 学校の概要と入試の説明

学校生活、学生寮の紹介

学校・校舎内見学

教員による模擬授業 8月24日「新生児の入浴」9月14日「体位変換・移動・移送」

3月22日「点滴の準備」

在校生との交流



今年度のオープンキャンパスの様子です。教員による模擬授業は実際に学生が受けている授業に添って行うので、看護学生の擬似体験もできます。たくさんのご参加お待ちしております。